

再生可能エネルギー取組概要

団体名：梶原町

◎ 事業実施主体の特徴

国道４４０号線のバイパス道路を、町のメインストリートに通すために、「匠の会」という町民組織を立ち上げて、まちづくり交付金事業（国土交通省）を利用して区画整理を行い、電線も地中化して、新設した８２基の街路灯（夜間）の電源を賄い、昼は梶原学園の中学校棟や体育館の電源を、賄っている。災害非常時は四国電力の電源に切り替わるようになっている。

◎ 発電設備

	項目	数値	備考
設備概要	電源	小水力発電	
	出力（kW）	最大 53kW 最小 19kW	メーカー：富士電機株式会社 設備整備時期：平成２０年
	稼働率（％）	59.3％	
	年間発電量（kWh）	275,653 kW	（直近１年間の実績値）
	年間売電量（kWh）	144,325 kW	（直近１年間の実績値）
	売電単価（円／kWh）	34.0 円（税別）/kwh	売電先：四国電力株式会社
	売電収入（円／年）	5,170,000／年	
資本費	建設費（円）	本工事費 185,000 千円 送電設備 11,200 千円	建設事業者：岩井建設株式会社
	土地購入費（円）	0 円	
	系統連系費（円）	0 円	余剰売電のため工事発生せず
	撤去費（目標積立額）（円）		
運転維持費	人件費（円）	500,000 円	雇用人数：１人（建設会社）
	修繕・保守費（円）	1,100,000 円	メンテナンス事業者：富士電機株式会社
	地代（円）		
	水利利用料（小水力）（円）	0 円	
	燃料費（バイオマス）（円）		
	その他ランニングコスト		
租税等	固定資産税（円／年）		町の施設のためなし
	事業税（円／年）		
	その他税金（円／年）		
	支払利子（円／年）		

◎ 資金調達方法

【初期費用の調達の内訳】

一般財源、補助金 4 割ではあるが、実際の補助率から計算すると約 3 割ほどになる。			
自己資金（円）	補助金（円）	資金調達（円）	総額（円）
0 円	55,500,000 円	140,700,000 円	196,200,000 円

◎ 発電に関する知見の習得

停電復旧時のキュービクルの対応等、発電施設の操作方法をマスターするのに時間がかかった。

◎ 事業開始及び運転に当たって生じた課題及びその対応

年度によって水量がまちまちであるため、発電量の実績はなかなか見通しを立てるのが難しい。

◎ 売電収入の使途

- ①日中は梶原学園の中学校棟の使用電気量の 90% が賄われております。
- ②夕方は町内 82 基の電灯に利用されております。
- ③余った電気（余剰売電）を売電しております。

◎ 発電の波及効果

- ・町民の環境意識の向上につながっている（再生エネルギーの見える化）

◎ その他

- ・梶原町風力発電所
- ・太陽光発電施設
- ・ペレット工場
- ・RDF
- ・BDF
- ・土づくりセンター
- ・LCCM 住宅（ライフサイクルカーボンマイナス住宅）
- ・マイクロガスタービン施設
- ・地中熱を利用したプール

◎ 今後の展開

- ・風力発電施設を拡大し、8 基の建設を計画中（2 基建替え含む）
- ・小水力発電施設を拡大し、数ヶ所の増設も検討している。